



2009年7月27日

セカンドハンド通信 NO.57

セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 050-1046-9928
〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18 (IP電話に変更しました)
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/



15th Anniversary

15th Anniversary

セカンドハンド15周年を迎えて

今年5月、セカンドハンドは設立15周年を迎えました。「カンボジアに本を」という一人から始まった活動は、誰もが気軽にできる国際協力という趣旨に賛同した多くの方に支えられ、着実な成果をあげてきました。

設立当時の日本は、環境問題も今のよう注目されておらず、人々が次々と物を購入しては消費し、また新しいものを購入するというのが当たり前のずいぶん贅沢な国でした。15年が過ぎ、「100年に一度の経済危機」と騒がれる現在の日本では、自分の将来に不安を抱く人がたくさんいます。もし日本しか知らなければ、自分もそうであったと思います。しかし、生まれた場所が違っただけで、例えばカンボジアをはじめアジア、アフリカの多くの国では、栄養が足りず、教育も受けられず、自分の能力を十分に発揮できない人がたくさんいるのです。そんな人たちから見れば、学校に通え、安全な水が飲め、一日に三食食べられることなど、日本ではごく当たり前のことが、貴重に思えます。



カンボジアのスラムに暮らす家族

そう考えると、現在の「経済危機」は私たちにとって重要なチャンスに思えます。今の経済制度の不平等さ、不合理さに気づき、それと向き合うチャンスです。世界はひとつの体のようにつながっています。環境汚染もそうですし、差別や貧困によって本

来の能力を発揮できない状況は人類全体の損につながります。セカンドハンドをはじめとするボランティア団体は、一人一人が自分の能力を発揮し、社会のために貢献できるよう、地道に努力しています。セカンドハンドが支援するカンボジアの人々も大変な状況に置かれながら、当たり前のように助け合っています。他の人のために役立てるということは本当に幸せなことだと思います。

セカンドハンドの15周年を記念して、「しあわせのおすわけプロジェクト」を始めました。支えてくださったすべての方への「ありがとう!」という気持ちを込めて実施しています。カンボジアの人々は、家族が一緒にいることや健康であることが幸せだといいます。それは小さな幸せかもしれませんが、でも、そんな小さな幸せを見つけ、感謝する、そして、幸せを周りの人々と分かち合う、その姿勢に私たちも学びたいと思います。

「みんなが幸せを分け合うことで、きっと世界は変わる!」と信じてこれからも活動して参ります。今後ともご支援をよろしくお願い致します。

理事長 平野 キャシー



平野 キャシー

1978年カナダから来日。「世界は一つの国であり、人類はその市民である」という言葉を確めたくて、京都で1年間ホームステイ後、国際基督教大学に入学。文化人類学専攻。1983年に卒業し、土木コンサルタント会社で翻訳者として国際援助に携わる。建築家の夫と結婚。1987年～高松に居住。二児の母であり、フリーランス翻訳者。1994年セカンドハンド設立以来、ボランティアとして関わり、2007年に理事長に就任。(現在も無償ボランティア) *1バハオラ1817年～1892年

SECOND
HAND

「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ(提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売)。一人ひとりの力は小さくても集まれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援して下さった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

平成21年度総会を開催しました

6月28日、高松市男女共同参画センターで、平成21年度のセカンドハンド総会を実施しました。会員や一般の方、約30名が参加し、平成20年度活動報告・決算報告、平成21年度事業計画・予算などの議題について審議し、満場一致で承認可決されました。



今年度の活動計画

【海外支援事業】

- 教育支援(奨学金支援、ザンビアの小学校建設支援)
- 自立支援(スヴァイリエン職業訓練センター、フェアトレード)
- 医療支援(救急医療システム構築、医療施設建設)
- ホームランド孤児院支援

【国内事業】

- 15周年キャンペーン～しあわせのおすそわけプロジェクト～
→詳細はp8
- その他、国際協力への理解・普及、ファンドレイジングにつながる各種イベントの開催、学生部のサポートやボランティア体験受入をはじめとする人材育成事業、チャリティーショップや支部のサポートなど。

新しい取り組みとして、ザンビアでの小学校建設があります。ザンビアを含むアフリカ諸国の困窮状況はカンボジアよりさらに深刻であり、救急医療支援で連携しているTICO(徳島)を通して、ザンビアの小学校建設を支援する予定です。また、本年度は15周年という節目の年であり、より多くの人々がより気軽に参加できる新しい国際協力の形として、店舗や企業とのコラボによるキャンペーンを実施しています。

今年度も皆様のご協力をお願いします。

基調講演

救急隊育成専門員
弓削田さんの帰国報告

2月16日～5月15日まで救急隊育成のために派遣していた弓削田さんによる報告会を開催しました。カンボジアの現状そして救急医療支援の必要性を参加者に知っていただける機会となりました。



15周年を迎えた
セカンドハンドに
15名の方より
メッセージを
いただきました！



小さい頃から母に連れられ、参加していました。子供や大人が対等に、同じ目的の為に力を出し合う体験は、とても貴重で、多くを学びました。母は仕事に伴う責任を重く受け止めている反面、セカンドハンドを支える一ボランティアにすぎないという姿勢でいるようです。

平野礼以奈(小指会メンバー、平野理事長の娘)



「ボランティア」ってコトバが少し恥ずかしい世代。そんな世代でも、シリアスにならず、えーかげんに、でもながーく続けるといつの間にか「良いかげん」になって、少し素直になれます。そんな「場」と「人たち」がセカンドハンドさんですね！Happy 15th Anniv. !!

二ノ宮敬二(横アイコピー印刷)



セカンドハンド設立15周年、おめでとうございます。これからもここ高松市から広がり、そして世界の人々がつながる国際協力を共に目指していきたいと思います。さらなるご発展を心よりお祈りしています。

新納 宏(JICA四国 支部長)



On the occasion of the 15th anniversary of Second Hand, I would like to offer what I often hear from simple Cambodian people, that is: "I have nothing but my ten fingers clasped in salutation to offer you in gratitude". Indeed Second Hand deserves a tribute for its unwavering support to the people of Cambodia, especially the youth of Sen Sok community. At the heart of this support is fostering relationship and understanding between Cambodian and Japanese youth, planting seeds for a harmonious and peaceful world. Congratulations and best wishes.

Len Montiel, MM Maryknoll Cambodia

「あなたたちの支援に対し、私は5本の指を合わせて感謝することしかできません」カンボジアの人々がよく口にするこの言葉を、15周年を迎えたセカンドハンドに捧げたいと思います。カンボジアの人々、特にセンソック地域の若者への確固たる支援は、賛辞すべきことです。私たちがお互いを思い合い、平和な世界を作る種を蒔くことで、カンボジアと日本の若者たちの理解と関係をこれからさらに深めていくことでしょう。15周年おめでとうございます。みなさまの幸せを心より願っています。

レン(マリノール・センソック地域での連携団体)

村の人々が健康を保てるように・ トヴァイン村の医療施設建設に向けて

学校建設を支援したトヴァイン村から要請を受けていたヘルスセンター(医療施設)建設に関する調整に行ってきました。建設した場合の住民利用者数、近隣の医療施設への距離や移動時間、建設後に政府から医者や看護師を派遣してもらえるかなどの確認です。

まず、最初にスヴァイリエン州の保健局長らと協議しました。局長からはトヴァインから3km程度の場所(後に勘違いと判明)に医療施設があるので、できれば別の支援をお願いしたいと要請がありました。

局長から提案されたのは、トヴァイン村から一番近いアンタソー・ヘルスセンターにマタニティールームを建設する計画です。政府としては、すべてのヘルスセンターに分娩と産後入院できる部屋をつくるという方針がありますが、予算がないため整備できていません。アンタソーの看護師によると、産後はすぐ(4～5時間で)自宅に帰るそうです。1997年にユニセフの支援で建設された施設で、電気はきていません。出産は深夜に多いため、現在は発電機を使っています。しかし、石油を買う予算がないので「も

しマタニティールームを建設するなら、ソーラー電池を導入してほしい」と懇願されました。カンボジアには一年中、太陽光が溢れているので、設置できれば理想的です。

アンタソーの看護師さんは毎月トヴァイン村までワクチン注射のため訪問しているそうで、「トヴァイン村まで約7kmで自転車だと30分。しかし、雨季は道が悪くて通うのは難しい」と話をしてくれました。政府側は場所を勘違いしており、さらにトヴァイン村に学校が建設されたことや道の状態をご存知なかったため、再度調査することになりました。

トヴァイン村とアンタソー村のどちらの優先度が高いかを政府側が判断し、そのいずれかを今年支援する方向で話し合っています。

現在、ソーラー電池についてカンボジア国内で情報収集。ご支援可能な方、会社、情報などありましたら、ぜひご紹介ください。



きていません。アンタソーの看護師によると、産後はすぐ(4～5時間で)自宅に帰るそうです。1997年にユニセフの支援で建設された施設で、電気はきていません。出産は深夜に多いため、現在は発電機を使っています。しかし、石油を買う予算がないので「も



セカンドハンドの特徴は、子供たちに教育の機会を提供されるだけではなく、日本の多くの皆さんが参加される機会をつくっておられることです。これからより多くの人がセカンドハンドを通してカンボジアの子供たちとつながることを期待しています。

←サムリエン小学校教員と(写真右)

磯部 正広(ジャンティ国際ボランティア会 カンボジア事務所所長)



15周年おめでとうございます。カンボジアの女性たちが来日した際に手織り機での作品作りで交流し、その後2006年にカンボジア・ツアーに参加。高松での総会に参加したり、講演に来ていただいたりと、セカンドハンドとのおつきあいが続いています。これからこうした関係が続けられるようにと思っています。

松尾 悦子(YUCCA 山口県フェアトレードショップ)



カンボジアを代表し、ボランティアや支援者の皆様に深く感謝を表します。当保健局への貢献度が一番高い団体がセカンドハンドです。建設いただいたお産病棟では毎月80～100人の赤ちゃんが誕生しています。2007年からは救急隊への支援もしてくださり、保健状況の改善や貧困者の貧しさの軽減につながっています。

イム・ソーチャット(ブノンペン市西部保健局局长)



15周年おめでとうございます。平成12年の退職を機に世の中へお返しをしたいと思いインターネットで検索してセカンドハンドと出会いました。退職後陶芸を始め、セカンドハンドのロゴマークやカップを作ったり、データ入力などを手伝っています。

高倉 恒三(川口支部ボランティアスタッフ)



2005年から小指会の奨学金支援を受けています。セカンドハンドが日本に行く機会をくれ、小指会のメンバーがどんなに頑張っても私たちに支援しているのを知りました。皆さんへの恩返しは、一生懸命勉強して自分のベストを尽くすことだと思っています。私だけでなく、センソックに住む貧しい生徒たちが勉強できる機会をくださりありがとうございます。

ヒー・チャン(センソック地域・奨学生)

センソックでの奨学金制度 未来の担い手を育成



セカンドハンド学生部「小指会」は、貧困層が多く住むセンソック地域で、優秀なのに経済的な理由で学校を続けられない状況の生徒10～14名を奨学金制度で支援しています。

今年7月、奨学生のうち4名が高校を卒業するため、9月から新たに8名を奨学生として支援をすることになりました。

この制度を始めた2005年当初、1人当たり年間100ド

ル（約1万円）の支援があれば学校に通える状況でしたが、翌年には厳しくなり、セカンドハンドが家庭教師プログラム（地域の子どもたちに勉強を教えることに報酬）という形で、特に貧しい生徒を対象に支援を広げました。しかし、さらなる物価高騰の影響を受け、昨年9月より特別に貧しい生徒を選ぶのではなく、学年ごとに必要金額を算出し、1人につき一律438.2～622.7ドル（約4万3千円～6万2千円）の支援を行っています。

今回、9月から新たに仲間入りをする8人の学生たちをご紹介します。



Chhub Sotheara

（女）16歳、中2。

〈夢〉 ツアーガイド、仕立て屋。
5人兄弟。父は数年前に亡くなり、母は定期的な職がなく、生活が大変苦しい。学校を辞めて仕事につくように促されたが、どうしても高校を卒業したい。

母に教育の大切さを説明し、説得してくれたおかげで続けられる。



Choeum Lita

（女）18歳、中3。

〈夢〉 薬剤師、美容師。
2人姉妹。土地がなく、不法居住なので、いつ追い出されるかわからない状態。父は大工だが、病気がち。母は無職。学費は出せない家計状況だが、将来を変えるため、家族を救うために、学校をやめずに頑張ってきた。



Lai Reatrey

（男）19歳、中2。

〈夢〉 技師、計理士。

8人兄弟。父は大工。子どもは全員学校に通っているが、父しか収入がなく、大工の上に魚釣りをして米を買うために売っている。19歳で中2だが、大学まで勉強して能力を高め、いい職業につきたい。親は学校を辞め、家族を支えるために仕事につくことを望んでいるが、辞めたくない。

母に教育の大切さを説明し、説得してくれたおかげで続けられる。



Long Rina

（男）16歳、中2。

〈夢〉 英語の先生。

4人兄弟。父は大工。借金して家を建てようとしたが、ローン返済が多額で払えず、家も完成していないまま。小さなビジネスをはじめるため、またお金を借りたが、それも失敗し、学費どころか生活費も支払い困難。母は仕事が見つからず、両親共々病気がち。

母に教育の大切さを説明し、説得してくれたおかげで続けられる。

奨学金支援のための学生部の取り組み

奨学金の資金を集めるため、小指会とLIFT（フェアトレードの普及を活動の目的としているセカンドハンド学生部）のコラボで第4回国際協カステージを主催します。「奨学金支援は、彼らに必要な援助の一部に過ぎないが、受け取る側の学生にとっては大きな援助。少しでも力になりたい」（小指会・宮脇）、「イベントをつくりあげる大変さとやりがいを実感している。多くの方に会場まで足を運んで欲しい」（LIFT・北山）。

日本の学生たち、がんばれ!! 皆さんもぜひ、応援してください。

第4回国際協カステージ チャリティで自慢大会 ～かがやけカンボジアの子ども達～

日 時：2009年8月23日(日) 11:00～16:00

場 所：サンポートホール高松 第1小ホール

入場に際し、500円の寄付をいただきます。

来日するフェアトレード製品の製作団体の代表2名が会場に駆けつける予定です!

センソック地域

2001年のプノンペンの大火事で焼け出された人々が移り住んでいるスラムがある地域。首都プノンペン中心部から約20km。移住当初は井戸すらなかったが、徐々にインフラも整備され、改善しつつある。しかし、未だに衛生状況は劣悪で、乾季には40度を越える暑さと悪臭に襲われ、雨季には雨漏りや浸水などの被害が続いている。安定した職がなく、不安な日々を送っている人が多い。小指会



はここに中学・高校の校舎を2棟建設支援した。

困難な状況の中、卒業した生徒たちは…

センソックの就学率**は、小学校が65%、中学校は30%、高校は15%程度です。センソック中学・高校の生徒数は1,468人以上で今年の高校卒業予定者は、約100人。そのうち大学に進学できるのは20人程度で、ほとんどが男子です。女性は家庭にいたるべきだという考えが強く、進学はなかなか出来ません。奨学生だったスレイロット(20歳・女)も今年の卒業を断念し、3月に結婚しました。彼女は一人っ子で、亡亡人のお母さんはHIV/AIDS感染者。多額の借金があり、親のために学校を辞めて結婚しました。チャントウ(女)も、昨年学校をやめて仕事を始めました。学校に継続して通うのが大変な中、昨年「小指会支援の一期生」テリー(女)、ピセイ(女)、ヴィー(男)が高校を卒業しました。卒業できただけでも大変なことですが、3人のうち2人が女子というところも注目すべき点です。その上、別のNGOとの連携で3人とも今大学に通っています。

今年、7月にまた奨学金生徒4人がセンソック高校の卒業試験を受け、受ければ4人とも大学進学を希望しています。チャン(20歳・男)は英文学の大学教授を目指し、ソクダ(21歳・男)は経営学、ソクリム(20歳・女)はソーシャルワーカー、リナ(18歳・女)は薬剤師を目指しています。

**就学年齢に達している児童が就学している割合。



Meas Navan

(女) 17歳、高1。

〈夢〉 医者、記者。

6人兄弟。父を癌と結核でなくし、母は市場で野菜を売ることでわずかな収入を得ている。家は土間で浸水の時、危険。

メッセージ：親と支援者を喜ば

せられるように自分のベストを尽くし、一生懸命勉強をし、将来をよりいいものにしたいです。



Voeurn Soknov

(女) 17歳、中3。

〈夢〉 ツアーガイド。

母はプノンペンの市場で野菜売り。父はHIV/AIDS陽性。建設作業員だが、収入がわずかで家計を支えるほどはない。汚い池のなかに家が建っており、不衛生で電気、水道、トイレもない。土地も所有していない。学費の問題で、学校を辞めて仕事をする

よう言われているが、高校を卒業したい。



Sen Samneng

(男) 15歳、中3。

〈夢〉 医者、電気技師。

3人兄弟。父は警官だが家に帰らず経済的にも支えていない。借家に住み、家賃が食費や学費を圧迫している。

メッセージ：私たちに教育の機会を

を与えて下さり、心から感謝しています。この支援で英語、コンピューターなど、学校外の学習や体験のチャンスが多く、たくさん学べて嬉しいです。



Nob Chamroeun

(男) 17歳、中3。

〈夢〉 技師。

3人兄弟。父は警備員、母は無職。家の屋根は雨漏りし、家族が貧乏でその苦労を見るといつも不安で、悲しい。学校を中退して仕事をしようと思ったが、将来の

夢のために一生懸命勉強して頑張ることにした。

メッセージ：家族の状況があまりにひどくて絶望していました。学校を辞める覚悟をしていましたが、今、私はとっても幸せです。将来に希望を持つようになりました。

ピセイに関する嬉しい速報！



前号で、ピセイが結婚するために大学を断念したと報告しましたが、5月の現地視察で、大学に復帰したことを知りました。ご主人は彼女が好きで結婚承諾まで数年待ってくれた人です。結婚後、プノンペンの大学で勉強を続け英語の先生になりたいというピセイの願いを受け入れ、遠いバタンバン(約200km)で再び待っています。

夢を諦めなかったピセイと応援してくれているご主人にエールを送りたいと思います。

今年度の奨学金は計約73万円です。ご協力お願いします！

15周年を迎えた
セカンドハンドに
15名の方より
メッセージを
いただきました！



学校がないと知識を得ることが出来ず、知識がないと貧しい状況から抜け出せません。セカンドハンドがなければ、我々の「今」はありません。学校建設や職業訓練の支援で、たくさんのカンボジア人が自信をつけ、自分の家族を、また国を、自分で支えられるようになってきています。私たちもより多くの貧しい人々を助けるために、がんばります。日本にいる皆さんのことを決して忘れません。常に私たちの心の中にいます。

シバナ(ラチャナハンディクラフト代表)



市民を巻き込む国際協力のあり方に惹かれ、事務局で働いて8年余。ひとりの人の意識が変わることの重要さ、数え切れない多くの個人、企業が参画しての活動の素晴らしさを実感しています。規模は小さくても、着実に成果を上げていける団体であり続けられるよう、これからも微力ながら活動を支えられればと思います。

後藤 尚子(セカンドハンド事務局スタッフ)



職業訓練プロジェクトのおかげで多くの女性が技術を学び、家や工場で働けるようになり、生活が改善しました。私も子どもを学校に行かせ、母や家族を支えられるようになりました。一昨年、セカンドハンドが建設したトヴァイン小学校の一角で職業訓練が始まり、村人は大変喜んでます。私も貧乏だったため、貧しい人たちの気持ちがよく分かります。セカンドハンドの皆さんが私を助けたように、今、そういう人々を助ける立場にいるのは私にとって何よりの幸せです。

ヴァニー(職業訓練センター指導者)



ケニアに到着し、貧富の格差を目の当たりにしています。貧しくてバスにも乗れず悪路を片道2時間以上歩いて通勤し、12時間以上働くのに1日1食しか食べられない人が大勢います。それでも仕事があるのは良い方です。恵まれた環境を再認識し、私にできることを探っていきたいです。セカンドハンドが将来ささやかながらもより多くの国に支援できるようにあれば、と思います。今後ともよろしく願い致します。ナイロビより

深田真理子(事務局長を休み、協力隊でケニア赴任中)



98年から仕事帰りに店番を始め、99年にスタディーツアーに参加。私を含め皆の力を合わせた結果を見て納得！10年後の今も根本的に変わらず、皆で築いていくセカンドハンドにこれからも関わり続けたいし、どう成長するかが楽しみです。

「なぜ長く関わり続けている？」とジャンさんに質問してみました。

「日本での仕事を終えフランスに帰国せず日本に残った理由の一つにセカンドハンドとの出会いがある。設立者新田さんの考え方、誰もが発言できる透明性のある団体のあり方などが魅力的だから。」

エラリー・ジャン・クリストフ(セカンドハンド理事・翻訳家)



「セカンドハンド」という言葉からはめめかしい中古品をイメージしますが、その取り組みは、先駆的で希望にあふれ、光り輝く一級品に間違いありません。15周年おめでとう！今後も更なる進化を期待いたします。

福士 庸二(NPO法人TICO)

■このコーナーのグッズはメール、FAXでお申し込みいただけます。

E-mail : jimukyoku2hand@yahoo.co.jp

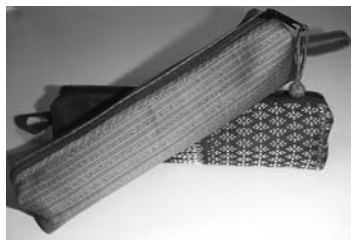
FAX : 050-1046-9928

GOOD
GOODS

カンボジア支援につながるフェアトレード商品

カンボジア商品

SECOND
HAND
fair trade



ペンケース
(サイズ:18×5cm)
1,000円

年代問わず
人気の商品です！

シルク(商品番号:1042)
コットン(商品番号:1043)

＜郵送での商品をご希望の場合＞

「カンボジア商品希望」など明記し、住所、氏名、希望の数をご記入の上、メールまたはFAXでお申込みください。お申し込みを確認次第、お支払い方法などのご連絡をさせていただきます。

別途送料が必要：カンボジア商品500円、CD90円、はがき90円、募金箱160円

※合計1万円以上お買い上げの場合、送料無料



●オリジナルクッキー(80g)550円

洋菓子店とのコラボで完成しました！

(左)カンボジアコーヒークッキー
アジアコーヒークッキー特有の甘い香りのコーヒークッキーです。

(右)胡椒とチーズのツイストパイ
カンボジア特産の胡椒入り。ピリッとした辛さのある大人向けクッキーです。



●チャリティーCD好評発売中！

れおん「少しだけ」
(全6曲)

●募金箱 無料

ご家庭、教室、職場、どこに置いててもOK！なお、募金箱は再利用してくださいね。

サイズ
縦19.5×横14.5×幅7.5cm

●オリジナル
ポストカード7枚組

これまでのセカンドハンドスタディーツアー秘蔵写真の中から選びました。はがきの表にはセカンドハンドからのメッセージも入っています。セカンドハンドをもっとたくさんの方に知っていただくために、是非使ってください。

SPECIAL THANKS <敬称略>

5月7日～7月12日までの2ヶ月間にご寄付などで協力くださった方々です。その他様々な形で協力くださった皆さまありがとうございます。
【店舗・倉庫】丸亀TMO推進協議会(丸亀店)、西川(福岡店)、喜多(福岡店)、(株)セシールロジスティクス(春日町)、富井(まんのう町)、長嶋(田村町)
【出店協力】オイスカ四国研修センター、四国学院大学・人権と文化の多様性に関する委員、総本山善通寺【ニュースレター発送協力】後藤家、高倉恒三、三木中学校、その他たくさんの方(寄付)香川／荒井悦子、植田和子、梶河保代、カフェテラス・ウッドストック、Café Yula、木村大三郎、久保智枝、眞田國男、杉田望子、資延文一、高松東高校マンガ研究部、高松ロータリークラブ、大同ガス産業(株)、田中浩一、林田物流(株)、原英子、びかでり屋、袋田芳子、ブルデーション生命保険(株)高松支社、馬淵和哉、三好富士夫、三谷範至、村上潮里、森岡美智、安原智子、山下真利子、由佐日登美、若宮広子、渡部佳代、渡辺さと子、愛知／松根伸治、岡山／福島康子、神奈川／小林崇規、弓削田裕子、京都／京都サポートハウス、高知／久島茂子、埼玉／アベカヨコ、高倉恒三、東京／海津美喜雄、小岸弘和、(株)デンタ、富山／萩浦いく弥、広島／有田理恵子、福岡／後藤キクエ、高木美緒、北海道／桜の会、山口／YUCCA・アルコイリスの会【その他】(株)アサツーティ・ケー四国支社、香川マツダ、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、セカンドフット、小豆島ヘルシーランド(株)、高松保育園、天勝(丸亀)、【カンボジア輸送協力】カトーレック(株)、兵機海運(株)【ニュースレター作成】(株)アイコー印刷

福岡店

福岡店の裏庭には大きなびわの木があります。今年もたくさんのびわがなりました。お客さんとスタッフと一緒にびわちぎりをしてたくさんのおみやげができました。

楽しい福岡店ですので、ぜひお店にお立ち寄りください。

イベント予定

9/18(金)~20(日)
アジア・太平洋フェスティバル
出店 (マリンメッセ)



様々な形でのご寄付 ありがとうございます！

●高松ロータリークラブ

昨年から始めたカンボジア支援の一環で、地元でカンボジア支援を行う団体ということから10万円のご寄付をいただきました。しっかりと現地に役立たせていただきます。



●ブルデンシャル生命保険 高松支社

以前よりバザーの搬入や搬出で社員の方がボランティアに来てくださっていたというつながりから、地域貢献の一環で66,000円のご寄付をいただきました。これらのお金は、本来、社員の実績に応じて配分される本部からの奨励金で、それを使わずに支援金にいただきました。カンボジアへのおすそわけ、ありがとうございます。

●YUCCA&アルコイリスの会

5月10日に大田原自然の家で開催された、毎年恒例「フェアトレードまつり」の収益金22,148円をご寄付いただきました。フェアトレードの商品展示、コンサート、講演会と内容が盛りだくさんでファンも多いイベントです。いつもありがとうございます！

ボランティアスタッフも募集しています！

北海道支部

フェアトレードフェスタ2009 in札幌参加！ 6/27・28



大通り公園で開催されているフェアトレードフェスタに出店しました。

両日とも天候に恵まれ、多くの方に来場していただきました。人気の商品はミニ象、ミニブタのマスコットで、カンボジア商品売り上げは約2万円でした。また、一緒に参加した色々な団体と交流することができました。同じカンボジアを支援している団体があることを改めて気づく事ができてすごく嬉しかったです。(福田)

イベント予定

- 8/14(金)~16(日) ライジングサンロックフェスティバル出店
場所:石狩湾新港樽川埠頭野外ステージ
- 9/12(土) 「中島公園フリーマーケット出店」
「しみさばカフェ出店」予定

information

第4回国際協力 ステージ開催

日時:8/23(日)
11時~16時
場所:サンポート高松
小ホール

お店でチケット購入可能です。当日ボランティアも募集しています。詳しくはセカンドハンド本部まで。

Second hand Official Supporter (SOS会員)募集

活動を資金面でサポートしてください！
セカンドハンド主催イベント優待、報告書の無料送付などの特典もあります。
①か②どちらか選べます

	①一年一括	②定額自動送金 (毎月)
一般	一口 10,000円	一口 2,000円
団体・企業	一口 20,000円	一口 3,000円

*毎年、4月更新となります
申込方法:①下記の郵便振替口座(同封の用紙利用可)に「SOS」と書いてお振込みください。
②本部までお問合せください。
郵便振替口座 01620-6-60029 セカンドハンド

ボランティアスタッフ募集

お店番、運搬(荷物運び、車の運転)、倉庫(提供品の仕分け)等、週1回~月2回など、関わり方は様々。スタッフが不足しています。
気軽に楽しく「国際協力しませんか?」

15周年キャンペーン! 高松三越でチャリティー作品展開催!

画家、跡部裕子さんの絵画と布絵(手描きのカットソー、ストール等)を展示販売(実演も予定)。高松で初の作品展です。
売上げの一部が医療施設建設に充てられます。
期間:9月8日(火)~13日(日)
場所:高松三越 本館2階特設会場
販売ボランティアも募集中!

次回ニュースレター 発送作業

10/24(土)・25(日)ボランティア募集!
参加可能な方は、事務局までご連絡ください。

9月までのイベント予定表

7月29日(水)	チャリティヨーガ	SPACE M(高松市一宮町)
7月31日(金)	チャリティフラワーアレンジメント講座	セカンドハンド本部4F
8月8日(土)・9日(日)	三木町いけのべ七夕まつり出店	三木町商店街(香川県木田郡)
8月14日(金)~16日(日)	ライジングサンロックフェスティバル出店	石狩湾新港樽川埠頭野外ステージ(北海道)
8月23日(日)	第4回国際協力ステージ	サンポート高松 小ホール
8月27日(木)	カンボジア女性自立団体代表シバナさん来日講演会予定	高松市内
9月8日(火)~13日(日)	チャリティ作品展	高松三越
9月18日(金)~20日(日)	アジア・太平洋フェスティバル出店	マリンメッセ福岡(福岡市)

セカンドハンド 15 周年キャンペーン 「しあわせのおすそわけプロジェクト」 実施中!

今年15周年を迎えたセカンドハンドでは5月から期間限定で「しあわせのおすそわけプロジェクト」を実施中です。香川県を中心に北海道、山口県など約60の店舗・企業が協賛しています。日常から取り組める身近な企画で、お店での買い物や、たとえばヨガ教室に参加するなど、楽しみながら参加できます。

プロジェクトの協力者はレストラン、カフェ、牧場、農家、音楽家、石彫家、歯科医院など多彩な面々で、取り組み方もさまざまです。

個展の売り上げの一部を寄付してくださったのは高松市の若宮広子さん。来場者にセカンドハンドの活動を紹介してくださったことで、協力者の輪も広がっています。「活動を通して私自身、幸せを感じました。この機会に恵まれたことを感謝したい」と若宮さん。

今年のお中元を何にしようか・・・と考えている方、キャンペーン商品の中からセレクトしてみたいはいかがでしょうか? また、誰かとお茶するときに、参加店を選んで、キャンペーンに参加してみてください。それがカンボジア支援につながるのです!

「私も協力できます!」という店舗・企業の方も引き続き募集しています。あなたの「しあわせ」をおすそわけしてください。

セカンドハンドHPからもお買い物できます!

<http://2nd-hand.main.jp/15/>

携帯サイト→



店頭・JR駅構内にキャンペーンのチラシを置いてあります。



地域のアーティスト協力

セカンドハンドチャリティーコンサート開催!

香川のビックバンド(ジャズバンド)の一つPop seeds(ポップシーズ)、セカンドハンドのテーマソング「少しだけ」でおなじみの、れおんさんが出演。ステージやロビーで様々な企画を実施予定です。

日 時: 11月29日(日) 14時~16時(予定)

場 所: アルファあなびきホール アクトホール

入場料: 1,500円

チケット販売場所: 8月頃より

セカンドハンド店頭で販売予定
(高松店、片原町店、丸亀店)

※送付可

高松店

■セカンドハンド本部(3F)

■高松店(1F)

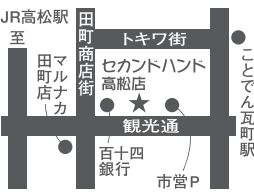
〒760-0055

高松市観光通1-18

TEL: 050-1046-9928

営業時間:

10:00~19:00



広島店

■セカンドハンド広島店

〒730-0051

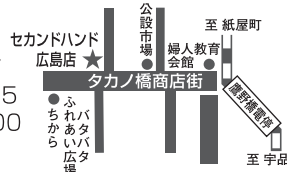
広島市中区大手町5-5-7

TEL: 082-247-3955

営業時間: 11:00~17:00

定休日:

土曜日・第1・3日曜日



片原町店

■セカンドハンド片原町店

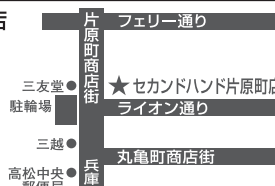
〒760-0040

高松市片原町9-1

TEL: 087-822-3552

営業時間:

10:00~19:00



福岡店

■セカンドハンド福岡店

〒814-0131

福岡市城南区松山2-7-15

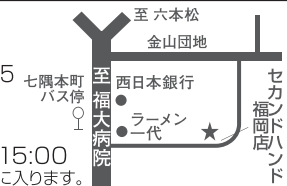
TEL&FAX:

092-871-5760

営業時間: 月 11:00~15:00

8月3日~8月17日まで夏休みに入ります。

8月24日からはお店を開けております。



丸亀店

■セカンドハンド丸亀店

〒763-0021

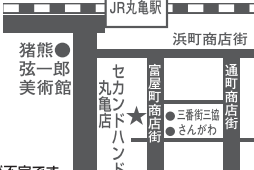
丸亀市富屋町30-1

TEL: 0877-25-2876

営業時間:

火 11:00~13:00

木 11:00~16:00



ボランティアスタッフ不足のため営業時間が不定です

支部

■セカンドハンド大阪支部

徳 090-6241-3768

(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

■セカンドハンド北海道支部

大波 Tel: 090-2695-9390

Fax: 011-785-2311

(E-mail) satomie@seagreen.ocn.ne.jp

☆このニュースレターは3ヵ月に一度5500部発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4800部を全国の支援者へ無料で発送しています。購読ご希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。